



(題字 瀧澤 弘 学長)

第458号  
(平成15年 2月号)

2月のトピックス

◇ 5日 第4回富山大学大学開放推進懇話会を開催



◇ 21日 平成14年度教育学部附属養護学校教育実践研究会を開催



△公開授業 (小学部) の様子

## 目 次

関係法令	3
学内規則	
◆ 富山大学教育学部規則の改正	4
◆ 富山大学教育学部附属学校規則の改正	5
諸会議	5
学 事	
◆ 第4回富山大学大学開放推進懇話会を開催	6
◆ 平成15年度入学者選抜個別学力検査（一般選抜（前期日程）及び専門高校・総合学科卒業生選抜）を実施	6
◆ 学位取得者	9
人事異動	9
学内諸報	
◆ 人文学部長の改選	10
◆ 教育学部長の改選	11
◆ 理学部長の改選	12
◆ 工学部長の改選	13
◆ 国立大学の法人化に関する講演会を開催	14
◆ 教育学部講演会を開催	14
◆ 平成14年度教育学部附属養護学校教育実践研究会を開催	15
◆ 卒業記念書展で活動の集大成を発表	15
◆ 教育学部附属幼稚園で教育講演会を開催	15
◆ 退官記念最終講義の実施	16
◆ 海外渡航者	17
◆ 表彰	18
主要行事	19

**関 係 法 令**

## (規 則)

- 人事院規則9-55(特地勤務手当等)の一部を改正する人事院規則(人事院9-55-64)(平成15.2.28官報第3555号)

## (告 示)

- 指定統計を作成するために集められた調査票の使用に関する件(総務96~99)(平成15.2.4官報第3538号)
- 電気通信主任技術者に係る学校等の認定基準の一部を改正する件(同100)(同)
- 統計に用いる都道府県等の区域を示す標準コードを定めた件の一部を改正する件(同101, 102)(同)
- 学部、短期大学の学科及び学部の学科の廃止を認可した件(文部科学12)(平成15.2.18官報第3547号)
- 平成15年度において使用される小学校、中学校、高等

学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教科書の定価を認可した件(同13)(平成15.2.18官報号外第31号)

- 専門士の称号の付与に関し文部科学大臣が専門士と称することができる専修学校専門課程として個別に認めた件(同14)(平成15.2.19官報号外第32号)
- 専門士の称号の付与に関し文部科学大臣が個別に認めた専門士と称することができる専修学校専門課程についてその名称を変更した件(同15~21)(同)
- 専門士の称号の付与に関し文部科学大臣が個別に認めた専門士と称することができる専修学校専門課程を廃止した件(同22)(同)
- 専門士の称号の付与に関し文部科学大臣が個別に認めた専門士と称することができる専修学校専門課程として要件に適合しなくなったと認めた件(同23)(同)

# 学 内 規 則

## 富山大学教育学部規則の改正

### 富山大学教育学部規則の改正理由

教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成15年 2 月21日

富山大学長 瀧澤 弘

### 富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年 4 月18日制定）の一部を次のように改正する。

別表Ⅵ 専攻科目 1 学校教育教員養成課程（3）言語・社会系 ②英語教育の表中

英語科教育	英語教育各論	2		2			
	英語教育演習	2		2			

英語科教育	英語教育各論	2		2			
	英語教育演習	4		4			

計		70	20	14	4	6	
			34		10		

計		72	20	14	4	6	
			34		10		

改める。

別表Ⅵ 専攻科目 3 情報教育課程 ②マルチメディア芸術専攻 の表中

芸術理論	芸術史	4				4
	視覚メディア史	2	2			
	芸術論（音楽・美術）	8				8
	メディアデータ編集法	2	2			
	○マルチメディア表現論Ⅰ	2				2
	○マルチメディア表現論Ⅱ	2				2

芸術理論	芸術史	6				6
	視覚メディア史	2	2			
	芸術論（音楽・美術）	6				6
	メディアデータ編集法	2	2			
	○マルチメディア表現論Ⅰ	2				2
	○マルチメディア表現論Ⅱ	2				2

改める。

### 附 則

- この規則は、平成15年 4 月 1 日から施行する。
- 平成14年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 富山大学教育学部附属学校規則の改正

### 富山大学教育学部附属学校規則の改正理由

学校図書館法の改正及び文部科学省初等中等教育局児童生徒課長通知（平成15年1月21日付け14初児生第24号）に基づき、附属小学校及び附属中学校において、平成15年度から司書教諭を配置するため、所要事項を改める。

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成15年2月21日

富山大学長 瀧澤 弘

### 富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部附属学校規則（昭和41年1月17日制定）の一部を次のように改正する。

第15条中「第26条の2」の下に「及び学校図書館法（昭和28年8月8日法律第185号）第5条」を加える。

#### 附 則

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

諸

会

議

#### 入学試験実施委員会（2月13日）

（審議事項）

- (1) 平成15年度富山大学入学者選抜個別学力検査実施要項（前期日程、後期日程）（案）について

#### 入学試験管理委員会（2月13日）

（審議事項）

- (1) 平成15年度富山大学入学者選抜個別学力検査実施要項（前期日程、後期日程）（案）について

#### 就職委員会（2月19日）

（審議事項）

- (1) 平成15年度全学就職支援事業実施計画（案）について
- (2) 学生の職業意識の形成に関わる授業について
- (3) 中期目標・中期計画について

#### 部局長会議（2月21日）

（審議事項）

- (1) 富山大学教育学部規則の一部改正について
- (2) 富山大学教育学部附属学校規則の一部改正について

#### 評議会（2月21日）

（審議事項）

- (1) 学長補佐の選考について
- (2) 学生の懲戒について
- (3) 平成16年度入学式の挙行日について

#### 学生生活委員会（2月24日）

（審議事項）

- (1) 学生団体の書類送付について
- (2) 平成15年度大学祭について
- (3) 授業料等免除及び徴収猶予に関する内規の一部改正（案）等について
- (4) 寮生との話し合いについて



学

事

## 第4回富山大学大学開放推進懇話会を開催

2月5日（水）、事務局大会議室において、第4回富山大学大学開放推進懇話会が開催されました。

この懇話会は大学開放事業をより円滑に推進するとともに、その実施状況について評価を受けるため、平成11年度から開催されているものです。

今回の懇話会には委員11名のほか、瀧澤学長及び大石生涯学習教育研究センター長ら13名が出席しました。

瀧澤学長の挨拶に引き続き、大石センター長が平成14年度の本学の事業報告や前回懇話会における提言に対するセンターの対応状況の説明を行った後、活発な質疑応答が行われ、委員からは「地域に根ざした公開講座をもっと増やしたらどうか」、「受講生募集PRの仕方を工夫したらどうか」など、大学開放の在り方について貴重な意見・提言が出されました。

なお、出席された委員は次の方々です。（50音順）

- 小川 弘（富山市監査委員）  
 高瀬 信正（富山大学公開講座受講者代表）  
 土井 均（北日本新聞社販売局長）  
 中田 正幸（富山県教育委員会生涯学習室長）  
 橋爪 愧（富山経済同友会幹事（株）ソシエハシヅメ代表取締役社長）  
 橋本 清（富山県民生涯学習カレッジ学長）  
 布施 実（日本放送協会富山放送局長）  
 堀内 道子（富山県婦人会副会長）  
 山口 松蔵（富山県立近代美術館館長）  
 米田 憲三（富山県生涯学習団体協議会会長）  
 和田 悟（北日本放送報道制作局長）

## 平成15年度入学者選抜個別学力検査（一般選抜（前期日程）及び専門高校・総合学科卒業生選抜）を実施

—昨年より115人少ない2,748人が受験—

平成15年度入学者選抜個別学力検査（一般選抜（前期日程）及び専門高校・総合学科卒業生選抜）が、2月25日（火）に各学部検査場において実施されました。

当日は、交通機関に大きな混乱はなく、本学には検査開始約2時間前から受験者の姿が見え始め、受付開始の午前9時には各検査場は受験者でいっぱいとなりました。

検査は、一般選抜（前期日程）及び専門高校・総合学科卒業生選抜の志願者2,905人（個別学力検査を課さない経済学部夜間主コースを除く）のうち2,748人が受験（受験率94.6%）しました。また、私費外国人留学生特別選抜も併せて実施され、68人が受験しました。

なお、前期日程、後期日程及び私費外国人留学生特別選抜の志願者は次表のとおりです。



△入場する受験者（経済学部検査場）

平成15年度富山大学入学志願状況表【確定】

学部	学科・課程等	平成15年度						平成14年度					
		前期日程		後期日程		両日程合計		前期日程		後期日程		両日程合計	
		募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)
人文学部	人文学科	36	161	4.5	13	91	7.0	49	252	5.1	49	354	7.2
	国際文化学科	30	166	5.5	11	110	10.0	41	276	6.7	41	285	7.0
	言語文化学科	45	195	4.3	17	133	7.8	62	328	5.3	62	518	8.4
	計	111	522	4.7	41	334	8.1	152	856	5.6	152	1,157	7.6
教育学部	学校教育系	14	34	2.4	9	51	5.7	23	85	3.7	23	104	4.5
	障害児教育系	5	26	5.2	2	22	11.0	7	48	6.9	7	56	8.0
	言語・社会系	17	67	3.9	8	96	12.0	25	163	6.5	25	190	7.6
	自然・生活系	19	40	2.1	6	78	13.0	25	118	4.7	25	138	5.5
	芸術・体育系	7	34	4.9	5	115	23.0	12	149	12.4	12	147	12.3
	発達臨床専攻	4	11	2.8	3	21	7.0	7	32	4.6	7	19	2.7
	生涯教育課程	4	15	3.8	3	94	31.3	7	109	15.6	7	211	30.1
	人間環境専攻	14	33	2.4	6	60	10.0	20	93	4.7	20	60	3.0
	情報教育課程	8	20	2.5	4	52	13.0	12	72	6.0	12	32	2.7
	マルチメディア芸術専攻	4	9	2.3	2	25	12.5	6	34	5.7	6	25	4.2
計	96	289	3.0	48	614	12.8	144	903	6.3	144	982	6.8	
経済学部	経済学科	80	205	2.6	31	245	7.9	111	450	4.1	111	572	5.2
	経営学科	71	195	2.7	24	222	9.3	95	417	4.4	95	432	4.5
	経営法学科	59	273	4.6	20	233	11.7	79	506	6.4	79	605	7.7
	小計	210	673	3.2	75	700	9.3	285	1,373	4.8	285	1,609	5.6
	経済学小計	3	21	7.0	7	66	9.4	10	87	8.7	10	173	17.3
	経営学小計	3	29	9.7	7	88	12.6	10	117	11.7	10	85	8.5
	経営法小計	3	52	17.3	7	107	15.3	10	159	15.9	10	103	10.3
	小計	9	102	11.3	21	261	12.4	30	363	12.1	30	361	12.0
計	219	775	3.5	96	961	10.0	315	1,736	5.5	315	1,970	6.3	
理学部	数学	28	168	6.0	6	28	4.7	34	196	5.8	34	158	4.6
	物理学	26	75	2.9	6	43	7.2	32	118	3.7	32	117	3.7
	化学	22	70	3.2	7	67	9.6	29	137	4.7	29	104	3.6
	生物	23	76	3.3	5	59	11.8	28	135	4.8	28	138	4.9
	地球科学	29	80	2.8	9	41	4.6	38	121	3.2	38	137	3.6
	生物圏環境科学	19	72	3.8	5	55	11.0	24	127	5.3	24	86	3.6
	小計	147	541	3.7	38	293	7.7	185	834	4.5	185	740	4.0
電気電子システム工学科	52	122	2.3	18	70	3.9	70	192	2.7	70	249	3.6	
工学部	知能情報工学科	45	115	2.6	16	68	4.3	61	183	3.0	61	192	3.1
	機械知能システム工学科	52	194	3.7	17	126	7.4	69	320	4.6	69	221	3.2
	物質生命システム工学科	93	423	4.5	28	406	14.5	121	829	6.9	121	505	4.2
	小計	242	854	3.5	79	670	8.5	321	1,524	4.7	321	1,167	3.6
	電気電子システム工学科	2	6	3.0				2	6	3.0	2	8	4.0
	知能情報工学科	2	9	4.5				2	9	4.5	2	10	5.0
	機械知能システム工学科	2	6	3.0				2	6	3.0	2	7	3.5
	物質生命システム工学科	2	5	2.5				2	5	2.5	2	6	3.0
	小計	8	26	3.3				8	26	3.3	8	31	3.9
	計	250	880	3.5	79	670	8.5	329	1,550	4.7	329	1,198	3.6
合計	823	3,007	3.7	302	2,872	9.5	1,125	5,879	5.2	1,125	6,047	5.4	

## 平成15年度富山大学入学者選抜試験私費外国人留学生選抜志願状況表

学 部	学 科 ・ 課 程		平成15年度		平成14年度	
			募集人員	志願者数	募集人員	志願者数
人文学部	人 文 学 科		若干名	3	若干名	7
	国 際 文 化 学 科		若干名	8	若干名	3
	言 語 文 化 学 科		若干名	8	若干名	6
	計		若干名	19	若干名	16
教育学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程		若干名	1	若干名	0
	生 涯 教 育 課 程		若干名	0	若干名	2
	情 報 教 育 課 程		若干名	1	若干名	2
	計		若干名	2	若干名	4
経済学部	昼間主 コース	経 済 学 科	若干名	8	若干名	7
		経 営 学 科	若干名	25	若干名	21
		経 営 法 学 科	若干名	8	若干名	3
	計		若干名	33	若干名	31
理学部	数 学 科		若干名	0	若干名	1
	物 理 学 科		若干名	0	若干名	2
	化 学 科		若干名	0	若干名	1
	生 物 学 科		若干名	1	若干名	2
	地 球 科 学 科		若干名	1	若干名	0
	生 物 圏 環 境 科 学 科		若干名	1	若干名	2
	計		若干名	3	若干名	8
工学部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		若干名	7	若干名	12
	知 能 情 報 工 学 科		若干名	9	若干名	12
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科		若干名	8	若干名	9
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科		若干名	8	若干名	3
	計		若干名	32	若干名	36
合 計			若干名	89	若干名	95

【参考：国籍別志願者数】

年 度	中 国	韓 国	台 湾	マレーシア	ヴィエトナム	合 計
15	80	2	2	4	1	89
14	91	4				95



## 学位取得者

所属・職・氏名 経済学部 教授 飯田 剛 史  
 学位の種類 博士（文学）（京都大学）  
 取得年月日 平成14年11月25日  
 学位論文名 在日コリアンの宗教と祭り ―民族と宗教の社会学―  
 論文の要旨

本論文は在日コリアンの宗教と祭りを社会学の立場から調査し考察した一連の報告をまとめたものである。在日の日常生活文化が、日本人と等質化してゆくなかで、宗教文化の領域は、なお伝統的、民族的特質が顕著に見出される。それらは多元的であって、伝統的な儒教的先祖祭祀、巫俗儀礼のほか韓国仏教、キリスト教、日本の諸宗教への関わりなどがあり、民族祭もそこに加えられる。これらの活動を、大阪を中心に民族集団の構造とネットワークのなかに位置づけつつ、個々の儀礼の意味やそこに集う人々の生き方の理解を試みた。



予め特定の方法論をたてて研究をはじめたのではなく、調査と報告を重ねるなかで方法的模索を進めた。結果として集団の枠組把握には歴史的・機能主義的手法を用い、他方、状況のなかでの人間の創造的行為をとらえるために自己組織性の視点を用いる複眼的方法を見出した。

この研究を通して、在日の宗教行動は単なる伝統の再現や受動的影響によるものではなく、一つ一つが文化とアイデンティティの主体的形成、革新の過程であることが明らかになった。在日コリアンを歴史の受動的被害者として一面的にとらえる従来の見方に対して、文化創造者、生活形成者としての新たな像を提起しえたのではないかと思う。

## 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異 動 内 容
昇 任	15. 2. 1	島崎 利治	講 師 工学部（物質生命システム工学科材料工学）	助教授 工学部（物質生命システム工学科材料工学）
退 職	15. 2. 5	山田 知訓	事務補佐員（経済学部）	平成15年2月4日限り退職
職務命令	15. 2. 21	金森 寛	教 授 理学部	学長補佐（～17. 2. 20）
	”	風巻 紀彦	教 授 理学部	教養教育実施機構長を免ずる
	”	松崎 一平	教 授 人文学部	教養教育副実施機構長を免ずる

## 学 内 諸 報

## 人文学部長の改選



矢澤英一人文学部長の任期が、平成15年3月31日で満了することに伴い、人文学部教授会は、2月19日（水）に次期学部長候補者選挙を行いました。

その結果、山口幸祐教授が次期学部長候補者に選出されました。任期は、平成15年4月1日から2年間。

山口教授は、昭和48年3月山形大学人文学部を卒業、同49年3月同大学人文学専攻科文学専攻を修了、同52年3月東京都立大学大学院人文科学研究科修士課程を修了、同55年3月同博士課程を単位修得退学後、同年4月富山大学人文学部講師に採用となり、同59年4月同助教授、平成5年4月同教授となり、現在に至っています。また、平成13年6月から評議員を併任されています。

専門は、日本近代文学、児童文学。文学修士（東京都立大学）。

（就任にあたって）

国立大学法人法案が閣議決定され、国会に上程されようとしている現在、国立大学はかつてない改革が必至という情勢に直面しています。一方で、富山大学は富山県内国立3大学の再編・統合という課題を目前にし、待たなしの状況でもあります。

このような厳しい、かつ重大な時期に大役を仰せつかり、果たして学部、また大学の将来に貢献できるかどうか心もとない次第ですが、皆様方のご指導とご協力をいただき、微力ではありますが少しでもお役に立てればと思っております。

人文学部は、昭和52（1977）年、旧文理学部より分離独立して発足し、平成5年には教養部の廃止に伴う学部再編、また、その後も学部の教育研究体制の整備に力を注いで参りました。現在は、規模においても専門分野の多彩さにおいても、全国の人文系学部に引けを取らないほど充実していると思われまます。

『富山大学50年史』にある、学部創設当時の精神を受け継ぎ、教育研究体制の整備を心懸けてきた歴史を重く受け止めながら、その専門分野の特色を十分に発揮することは勿論のこと、今後はさらに、新時代の中の人文系学部として、時代と社会の要請をどう受け止め、教育研究体制をどう作っていくか、真剣に考える必要があると思われまます。

課題は山積していますが、構成員が一致協力しての事態に対処すれば、法人化後にも、また、再編・統合後の新大学の中でも、人文系学部としての役割を十分果たすことができると信じております。そのための努力は惜しまないつもりでおりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 教育学部長の改選



塚野州一教育学部長の任期が、平成15年3月30日で満了することに伴い、教育学部教授会は、2月12日（水）に次期学部長候補者選挙を行いました。

その結果、山西潤一教授が次期学部長候補者に選出されました。任期は、成15年3月31日から2年間。

山西教授は、昭和48年3月富山大学工学部を卒業、同50年3月同大学大学院工学研究科修士課程を修了、同53年3月大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程を単位修得退学、同55年3月同修了後、同57年6月富山大学教育学部附属教育実践研究指導センター講師に採用となり、同59年6月同助教授、平成元年3月富山大学教育学部助教授、同4年4月同教授となり、現在に至っています。また、平成10年5月から同14年5月まで富山大学総合情報処理センター長を、同14年2月から評議員を併任されています。

専門は、教育工学、情報教育。工学博士（大阪大学）。

（就任にあたって）

この1年、教育学部は再編・統合のうねりの中で新しい学部像の構築に向け学部の総力を傾けてきました。その新しい舵取りを任せられ、身に余る光栄であると同時にその重責をひしひしと感じています。

教育学部が教員養成のみの課程から、いわゆる教員養成を主目的にしない課程を内包する最初の改編が行われたのは昭和63年、その後2度の改組が行われて現在に至っています。

私自身、教員養成を主目的にしない情報教育課程に軸足をおきながらも、教育の情報化と相まって学校教育に深く関わってきました。情報技術を教えることは勿論ですが、その技術の教育的活用について教えたり、教え方そのものの指導が中心です。

学校教育のみならず、生涯学習や企業内教育でも、今、この、人に知識や技術を伝えるインストラクショナルデザインが求められています。教育学部には多様な専門分

野の教員が多数おられますが、共通するのは、優れた教育技術です。

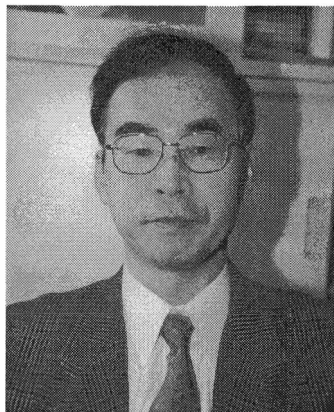
最近の日本教育大学協会会報の巻頭言で、総合大学の中にある教育学部は大学の教育全体を視野に収めた基幹的な学部であるべきであり、教育のスペシャリストであることが期待されているとの言葉がありましたが、全く同感です。教員養成機能を有する新しい学部の骨格は作られましたが、その肉付け作業はこれからの課題です。

法人化に向けての中期目標・中期計画の策定では、大学・学部がいかに特色を出して、多くの学生を集め、有為な人材を世に送り出していくかが期待されています。また、大学評価・学位授与機構の外部評価も行われます。大学が今まで以上に自由に組織の編成が可能になる反面、教育研究の質の確保に対する責任も大きいのです。

昨年、全米の教育系大学の基準協会が実施する実地評価に参加する機会を得ましたが、評価を受ける大学が2年近くかけて準備した大量の資料を読んだの実地評価は4日間に及んで、研究論文もさることながら、学生の教育にいかにか教員がエネルギーを費やしているか、授業の教材や課題、教育方法の実践例などが克明にインタビュー調査され、教員個々の教育や研究にかける努力とその成果が客観的に評価されていました。この評価は大学が自らの個性を受験生や社会、企業にアピールする絶好の機会ととらえています。我が国の大学改革もこの方向に進んできています。

厳しい再編統合のなかではありますが、地域にあって個性輝く学部の構築に、教育学部はもとより全学の皆様のご支援をいただき、微力ながら努力させていただきます。どうぞご指導ご協力の程よろしく御願ひ致します。

## 理学部長の改選



岡部俊夫理学部長の任期が、平成15年3月31日で満了することに伴い、理学部教授会は、2月12日（水）に次期学部長候補者選挙を行いました。その結果、平井美朗教授が次期学部長候補者に選出されました。任期は、平成15年4月1日から2年間。

平井教授は、昭和47年3月明治薬科大学薬学部を卒業、同49年3月東北大学大学院薬学研究科修士課程を修了、同52年3月同博士課程を修了後、同年4月富山医科薬科大学に採用となり、同54年4月同大学薬学部助手、平成3年4月富山大学理学部助教授、同8年4月同教授となり、現在に至っています。また、平成13年7月から富山大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー副ラボラトリー長を併任されています。

専門は、有機合成化学。薬学博士（東北大学）。

（就任にあたって）

平成16年度から国立大学が独立行政法人に移行し、大学の管理・運営システムが大幅に変わるとともに、第三者評価とそれに基づく運営費交付金の配分等、競争原理の導入が実施されます。現在、各学部とも中期目標・中期計画の作成に追われていることと思います。また、平成17年度には県内国立3大学が再編・統合される予定です。

このような状況下で、理学部でも少子化による全入時代到来への対応、国際的競争力をつけるための研究・教育水準の向上、外部資金の獲得の拡大、地域社会への貢献、大学院の部局化等、取り組まなければならない課題が山積しています。また、建物も未改修部分を残しており、不便な環境下で研究・教育に当たっておられる教員も少なくありません。

このような重要な時期に理学部の纏め役を引き受けることになりました。上述の諸課題の一つでも多くを乗り越えるべく微力ながら取り組んでいきたいと思っています。先生方のご支援を宜しくお願いします。

## 工学部長の改選



龍山智榮工学部長の任期が、平成15年3月31日で満了することに伴い、工学部教授会は、2月12(水)に次期学部長候補者選挙を行いました。

その結果、龍山智榮学部長が次期学部長候補者に再選出されました。任期は、平成15年4月1日から2年間。

龍山教授は、昭和41年3月静岡大学工学部を卒業、同43年3月同大学大学院工学研究科修士課程を修了、同46年3月大阪大学大学院工学研究科博士課程を単位修得退学後、同年4月富山大学工学部講師に採用となり、同47年3月大阪大学大学院工学研究科博士課程を修了、同年6月富山大学工学部助教授、同57年4月同教授となり、現在に至っています。また、平成3年5月から同7年5月まで富山大学地域共同研究センター長を、同12年4月から同13年3月まで富山大学機器分析センター長を、同13年4月から富山大学工学部長を併任されています。

専門は、薄膜物性工学。工学博士(大阪大学)。

(就任にあたって)

国立大学の再編・統合や法人化問題などで、富山大学を取り巻く情勢は刻々と変化していますが、教育・研究の質の向上に向けての継続的な取り組みが重要です。

工学部では平成14年11月に、機械知能システム工学科の「機械工学教育プログラム」において日本技術者教育認定機構(JABEE)の審査を受けましたが、2月末に、その認定内定の連絡を受けましたことは、大きな喜び・励みであります。JABEEでは教育の質の改善に向けての組織的取り組みが求められます。今後、全学科での早期認定を目指したいと考えています。「学生による授業評価」や、「学生が選ぶザ・ティーチャー」制も継続して行い、また本年度試行した教育業績評価方法を再検討し、教育の改善につなげることが必要です。さらには、教育・研究・社会貢献等における総合的な業績評価方法の検討が求められています。

大学院の研究機能をさらに充実・高度化するために、現在、理工学研究科を研究部・教育部方式に移行させる新しい組織を検討中です。平成14、15年度の「21世紀COEプログラム」を申請する中で、プロジェクト研究に日頃から取り組む必要性を痛感しました。そのためにも、研究部・教育部方式を是非実現したいものと考えています。

懸案事項が山積する中で、引き続き重責を担うことになりましたが、皆様のご協力を得て、工学部、富山大学の発展に努力していく所存ですので、よろしくお願い致します。

## 国立大学の法人化に関する講演会を開催

2月14日（金）、黒田講堂において、学校法人共立女子学園理事の大坂紘一郎氏（元東京外国語大学事務局長）を講師に招いて、国立大学の法人化に関する講演会「大学業務のアウトソーシングを中心に私立大学の経営について－共立女子学園の場合－」が開催され、教職員約100人が参加しました。

大坂氏は、文部科学省及び学校法人共立女子学園での経験を基に、高等教育改革の背景、共立女子学園の改革の状況及び教育機関を取り巻く最近の動向について講演され、特に、大学として生き残っていくための教職員の意識改革と、学生のニーズの的確な把握の重要性や経営の効率を目的とした大学業務のアウトソーシングによる効果について説明されました。

また、講演終了後には参加者から経営効率化及び法人化に必要な管理者の意識等についての質問があり、有意義な講演会となりました。

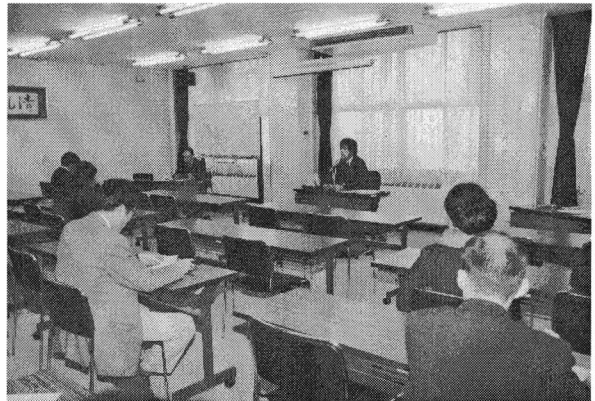


## 教育学部講演会を開催

2月21日（金）、教育学部会議室において、高知大学教育学部長の刈谷三郎教授による学内のアカデミック・ハラスメントの防止及び予防を図ることを目的とした講演会「アカデミック・ハラスメントにどう対応するか」が開催され、他学部からも多数参加しました。

講演の中で、刈谷教授は高知大学で行っているアカデミック・ハラスメントに対する対応システムや実際の事例における留意点・問題点等について説明されました。

また、講演終了後には参加者から熱心な質問が出され、大変貴重な講演会となりました。





## 平成14年度教育学部附属養護学校教育実践研究会を開催

2月21日（金）に教育学部附属養護学校において、平成14年度教育実践研究会が開催されました。

「一人一人の教育的ニーズに応じた支援はどうあるべきか ～個別の指導計画・支援ツール・児童生徒を取り巻く環境～」を主題とした今年度の研究会には、県内外から大学教官及び知的障害児施設関係者等約300人が参加し、小学部、中等部及び高等部の公開授業、ポスター等による研究紹介及び講演等を通じて、生徒一人一人の必要に応じた教育支援法を探りました。このうちポスター発表では、同校教官や社会福祉法人の職員等が卒業生の

進路先との連携支援など10のテーマをポスターにまとめ、担当者がその前で活動成果等を報告しました。

また、「子どもが分かって動ける授業づくり ～主体的な参加を促す環境的配慮を中心に～」と題した上越教育大学の藤原義博教授の特別講演も開催され、大勢の参加者が熱心に聴講しました。

## 卒業記念書展で活動の集大成を発表

本学書道部の卒業記念書展が2月27日（木）から3月7日（金）まで富山県教育記念館において開催され、3人の4年生を含む部員16人の学生が1年間の集大成を発表しました。

作品は中国の古典を題材にして、楷書、隸書、草書及

び行書などの書体で漢字を表現し、優しい筆遣いのもので力強い筆運びのものなど様々で、それぞれの個性を感じさせました。また、万葉集の和歌を書き、かな文字独特の流れるような美しさを表現した作品もあり、来館者はじっくりと鑑賞しました。

## 教育学部附属幼稚園で教育講演会を開催

2月28日（金）に教育学部附属幼稚園において、教育講演会が開催され、作家の志茂田景樹氏が「読み聞かせをもとにしたコミュニケーションづくり」と題して講演しました。

同氏は講演の中で、親子を対象とした素直な心や夢を持つことの大切さを伝える自作の2種類の絵本について

スライドを上映しながら読み聞かせを行い、親が子に対して読み聞かせをすることの大切さを訴えました。

同氏は、平成12年10月の福岡市をはじめとして、これまで全国450ヶ所以上で講演されており、附属幼稚園会場には、大勢の父兄等が出席しました。

**退官記念最終講義の実施**

本年3月末をもって退官される教授の最終講義が教育学部で行われ、多数の学生、教職員、OBが出席し、終始熱心に聴講しました。



△教育学部 奥村 義男 教授

日時 2月18日(火) 13:30～

場所 教育学部一番教室

題目 社会学研究の歩み—その魅力と課題—



△教育学部 安藤 修平 教授

日時 2月22日(土) 14:30～

場所 黒田講堂会議室

題目 全ての子どもに「言葉の力」を

# (海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	工学部	助教授	松田 健二	アメリカ合衆国	情報交換及び資料収集	15. 2. 7 } 15. 2. 18
	工学部	教授	池野 進	アメリカ合衆国	情報交換及び資料収集	15. 2. 7 } 15. 2. 18
	総務部	事務官	新田三智也	アメリカ合衆国	情報交換及び資料収集	15. 2. 7 } 15. 2. 18
	総務部	事務官	谷口之武男	アメリカ合衆国	情報交換及び資料収集	15. 2. 7 } 15. 2. 18
	総務部	事務官	朝野 真	アメリカ合衆国	情報交換及び資料収集	15. 2. 7 } 15. 2. 18
	経理部	事務官	高森 満	アメリカ合衆国	情報交換及び資料収集	15. 2. 7 } 15. 2. 18
	経理部	事務官	伏喜 俊至	アメリカ合衆国	情報交換及び資料収集	15. 2. 7 } 15. 2. 18
	学生部	事務官	山田 豊	アメリカ合衆国	情報交換及び資料収集	15. 2. 7 } 15. 2. 18
	極東地域 研究センター	教授	今村 弘子	中 国	ネットワーク構築のため	15. 2. 17 } 15. 2. 21
	極東地域 研究センター	助教授	堀江 典生	ロ シ ア	研究打合せ	15. 2. 26 } 15. 3. 6
	理学部	助教授	張 勁	中 国	「極東アジア域における越境大気汚染物質の同時連続観測」についての資料収集及び研究打合せ	15. 2. 27 } 15. 3. 6
	教育学部	助教授	山根 拓	デ ン マ ー ク	20世紀デンマークにおける地域システムの形成に関する研究	15. 2. 28 } 15. 12. 31
海外研修	経済学部	助教授	秋葉 悦子	イ タ リ ア	カトリック生命倫理学に関する研究打合せ	15. 2. 12 } 15. 2. 28
	人文学部	外国人 教師	姜 若水	中 国	資料収集	15. 2. 17 } 15. 3. 1
	人文学部	外国人 教師	シュミット・ ホーファー	オ ー ス ト リ ア	文献収集	15. 2. 19 } 15. 3. 21
	人文学部	外国人 教師	Karen Fedderhalt	ドイツ, 連 合 王 国	文献収集	15. 2. 20 } 15. 3. 31
	理学部	助教授	藤 浩明	イ タ リ ア	総合国際深海掘削計画 (IODP) の暫定サイトサーベイパネル (iSSP) に出席・視察	15. 2. 21 } 15. 2. 28
	工学部	助教授	松田 健二	スロベニア, スイス	日欧科学協力事業 (共同研究) に関する研究打合せ	15. 2. 24 } 15. 3. 7

表

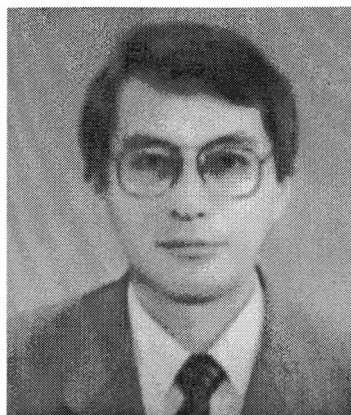
彰

**工学部 作井正昭教授がエネルギー管理功績者表彰を受賞**

2月18日（火）、作井正昭 工学部教授が中部経済産業局長からエネルギー管理功績者表彰（電気部門）を受賞されました。

これは、同教授が多年にわたりエネルギー管理業務の推進に努力され、エネルギー使用の合理化に貢献された功績に対して表彰されたものです。

作井教授は工学部電気電子システム工学科電気システム工学講座所属。専門は電気機器、パワーエレクトロニクス。



## 主 要 行 事

## 本 部

- 2月3日 事務局連絡会  
 5日 大学開放推進懇話会  
 6日～  
 7日 平成15年度21世紀COEプログラム説明会  
 10日 国立大学協会第3常置委員会（於：三田共同会議所（東京））  
 国立大学長・大学共同利用機関長等会議（於：三田共同会議所（東京））  
 センター等連絡会  
 10日～  
 14日 学内会計監査  
 12日 事務局連絡会  
 13日 構想策定委員会  
 入学試験実施委員会  
 入学試験管理委員会  
 14日 評議会  
 国立大学の法人化に関する講演会  
 国立大学学生指導担当副学長会議（於：東海大学校友会館（東京））  
 平成15年度大学発イノベーション創出推進会議及び大学知的財産本部整備事業説明会（於：東京）  
 17日 事務局連絡会  
 北陸地区国立大学連合協議会（於：金沢大学）  
 18日 運営会議  
 特別選抜入学手続き  
 19日 就職委員会  
 20日 北陸S T Cサロン  
 21日 部局長会議  
 評議会  
 21世紀COEプログラム対応委員会  
 24日 学生生活委員会  
 ベンチャービジネスラボラトリー幹事会  
 25日 平成15年度入学者選抜個別学力検査（一般選抜（前期日程）及び専門高校・総合学科卒業生選抜）  
 26日 事務協議会  
 第1回富山大学産学連携フォーラム

自然観察実習センター運営委員会

- 27日 ベンチャービジネスラボラトリー講演会  
 28日 北陸地区国立大学連合協議会（於：金沢大学）  
 北陸地区国立大学連合学長会議（於：金沢大学）

## 教 養 教 育

- 2月7日 総合科目部会  
 29日～  
 3月2日 教養教育スキー実習

## 人 文 学 部

- 2月3日 学部法人化対応委員会  
 5日 学部教務委員会・教務担当者合同会議  
 人文科学研究科委員会  
 教授会  
 7日 学部教務委員会  
 教授会  
 13日 高岡短期大学との話し合い  
 17日 学部情報処理委員会  
 18日 学部入学試験委員会  
 19日 学部教務委員会  
 人文学部教員と学長との懇談会  
 教授会  
 21日 学部研究評価対応委員会  
 24日 学部法人化対応委員会  
 25日 平成15年度入学者選抜学力検査（前期日程）  
 27日 学部学生生活・就職指導委員会  
 28日 学部予算委員会

## 教 育 学 部

- 2月2日 平成15年度附属中学校入学者第1次選考（学力検査）  
 3日 学部国際交流委員会  
 5日 予算委員会  
 学部将来構想委員会  
 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト

- ト運営委員会  
6日 平成15年度附属中学校入学者第2次選考（抽選）  
10日 学部教務委員会  
視覚障害者受入れ準備委員会  
12日 平成15年度大学院教育学研究科入学者選抜試験（第2次募集）  
教授会  
学部長候補者選挙  
人事教授会  
13日 学内会計監査  
14日 附属中学校評議員会  
18日 奥村教授最終講義  
附属幼稚園避難訓練  
19日 研究科小委員会  
研究科委員会  
講演会  
21日 附属養護学校教育実践研究会  
22日 安藤教授最終講義  
24日 平成15年度附属養護学校（高等部）第2次募集入学者選考  
25日 平成15年度附属養護学校（高等部）第2次募集合格者発表  
27日 附属小学校評議員会  
附属幼稚園評議員会

### 経 済 学 部

- 2月6日 任期制検討委員会  
学部自己点検評価委員会  
10日 学部教務委員会  
12日 人事教授会  
研究科委員会  
教授会  
13日 任期制検討委員会  
20日 任期制検討委員会  
27日 学部国際交流委員会  
任期制検討委員会

### 理 学 部

- 2月3日 学部法人化対応委員会  
4日 授業終了  
5日 21世紀COE対応理工学委員会

- 学部教務委員会  
5日～  
6日 大学院理工学研究科博士前期課程入学試験（第2次募集）  
12日 理学部長候補者選挙  
教授会  
大学院理工学研究科博士前期課程理学部会  
人事教授会  
大学院理工学研究科博士後期課程部会  
13日 大学院理工学研究科博士前期課程合格発表（第2次募集）  
19日 学科長会議  
学部教務委員会  
21日 学部教務委員会（持ち回り）  
24日 学部施設委員会  
27日 学部予算委員会

### 工 学 部

- 2月5日 21世紀COE対応理工学委員会  
7日 工学部任期制検討委員会  
10日 学部教務委員会  
12日 教授会  
専任教授会  
理工学研究科博士前期課程工学部会  
理工学研究科博士後期課程部会（工学系）  
理工学研究科博士後期課程部会  
13日 21世紀COE対応理工学委員会  
14日 学部自己点検評価委員会  
21日 工学部任期制検討委員会  
25日 学部運営委員会

### 地域共同研究センター

- 2月13日 特別講演会  
21日 大学院生教育講座  
講義テーマ；分散型電源について  
講師；片岡直昭（富山大学客員教授，北陸電力（株）技術開発研究所所長）  
会場；北陸電力（株）技術開発研究所  
先端技術講演会



## 生涯学習教育研究センター

- 2月5日 富山大学大学開放推進懇話会  
24日 公開講座専門委員会

## 総合情報処理センター

- 2月10日 総合情報基盤センター設置準備に係る運営委員会  
21日 企画運営専門委員会  
26日 総合情報基盤センター設置準備に係る運営委員会  
28日 総合情報基盤センター設置準備に係る運営委員会

## 留学生センター

- 2月13日 留学生センター運営委員会  
26日 留学生センター日本語コース修了式

## 水素同位体科学研究センター

- 2月24日 運営委員会

## 機器分析センター

- 2月19日 運営委員会

## 極東地域研究センター

- 2月21日 運営委員会



△富山県教育記念館で開催された本学書道部卒業記念書展



△教育学部附属幼稚園で開催された志茂田景樹氏の講演会

編 集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033  
 印刷所 あげぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町 1-5-18 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899